

「大人からはじめるバレエ」

10月19日 第1地域と一と会

東都人材
バンク・谷恵
子さんから、
バレエの基
本を学んで



個別指導もありました

きた「と一とバレエの会」。活動休止中もメンバーの意気は衰えず、9月の再開直後、バレエストレッチを開催しました。検温、マスク、換気、バレエに必須のパー(手すり)の消毒や床の清掃も徹底。人数も絞り、個別指導になるほど、きめ細かなレッスンで良い汗を流したら、コロナ禍のお約束として交流会を開かず解散。試食予定の商品も、家で試食できるものにして持ち帰りました。次回、レッスンとともに試食品の感想を語り合うのが楽しみです。



レッスンも密を避けて行いました

総代の任務や役割を学ぶ 総代オリエンテーションを開催

10月8日 第8地域委員会

今年度は八王子クリエイティブホール会場のほか、オンライン、動画でも説明の機会を設けて開催しました。実会場では、受付の検温など参加者の感染症予防対策も万全。講師の野地浩和専務理事は、新型コロナウイルスによる東都生協事業への影響について説明し、「コロナ禍で供給高は大きく伸長したものの、経費構造は改革が必要。システム化を図りコスト削減を進めていく」と語りました。出席総代からは、商品案内、ポリ袋の削減などさまざまな意見が聞かれ、貴重な機会となりました。より良い東都生協を目指して、ともに知恵を出し合い進んでいきましょう。



久しぶりの再開で交流も弾みました

ビデオ会議システム「Zoom」で 「連絡会」を開催!

9月～ 第6地域委員会



会場では適切な距離を保ちながら開催

新型コロナウイルス感染防止対策をした上で、9月から連絡会を開催しています。第6地域のブロックと一と会・サークルの代表者は、会場とZoomによるオンラインでつながり、7か月ぶりに再会しました。「集まれなかった間もメールや電話で連絡を取り合っていた」「生協のおかげで買い物に行かなくても食材や生活用品がそろい、感謝している」など、活動休止期間中の報告や今後の活動について情報交換。これからは企画開催のルールに沿って、できる活動を進めていきます。



会場に來れない方はオンラインで参加

オンラインでも充実した意見交換を!

10月6日 新商品おしゃべり会

新商品おしゃべり会は、商品案内に載る前の商品の原材料や製造方法などを確認し、組合員の視点から声を寄せ合う活動です。今年度は府中市市民活動センタープラッツで開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため4月～8月の活動は中止、9月はビデオ会議システム（Zoom）を使用して試験的に開催しました。10月～3月もオンライン開催の予定で募集し、13人が登録。事前に送られた2品の試食品を包材の記載通りに調理・試食し、製造工程や原材料などが書かれた商品ガイドを見て各自で評価しました。10月6日のおしゃべり会は、各自の評価を留意して自分のパソコン前で待機。職員からの詳しい説明の後、意見交換を行いました。参加者それぞれが、商品を自宅の食卓で試食し、家族みんなの声を反映した評価を持ち寄った様子が見られました。1時間15分という短い開催時間ですが、メンバーに、充実した意見交換ができたと感じてもらえるよう、今後も工夫を重ねていきたいです。



担当職員はパソコン越しに説明



「めかじきごましょうゆ揚げ」ごまの香ばしさとしょうゆ味のバランスが絶妙



「天然海老入り餃子」魚介ペースの優しい味。タレをつけなくてもおいしくいただきました。



＜2020年度第6回定例理事会2020年10月22日開催＞

- 商品検査室移転に伴う国立センター改修費用支出の件
 - 育児休業関連規程の改廃に関する件
 - ドライブレコーダー導入の件
 - 折りたたみ式ハイテナー(かご車)および小径ドリー購入の件
 - さんぽんすぎセンター運用規程利用細則の一部改正の件
- 〔報告事項〕
- 組合員活動委員会報告
 - 商品活動関連報告
 - 2020年度第1回総代会議の開催に関する件
 - 常任理事会決議事項報告

理事会報告
(抜粋)

今後の理事会日程(予定) 1月21日(木)、2月18日(木)

10月のわたしたち		
2020年10月20日現在 ※ []内は前年比		
組合員数	258,623人	[104.2%]
加入	15,315人	[146.1%]
脱退	5,099人	[54.2%]
総事業高	22,020,906千円	[125.3%]
共同購入事業	21,354,152千円	
弁当配食事業	180,335千円	
生活文化事業	20,105千円	
生活支援事業	37,290千円	
その他事業	429,024千円	
★出資金	6,634,538千円	[102.0%]
★1人あたりの出資金	25,653円	[97.4%]
★1人あたりの利用高	6,443円	[120.8%]

きょうされん第44次国会請願署名と リサイクル洗びんセンター支援募金協力のお願い

◆きょうされん第44次国会請願署名

障害福祉についての法制度拡充を求める 請願署名にご協力を

新型コロナウイルス感染拡大の下、障害のある人、家族、支援者、事業者はさまざまな困難に直面しています。障害のある人がコロナ禍でも安心して生活できるよう「きょうされん第44次国会請願署名」にご協力をお願いします。

※署名用紙は2月1回(1月18日～22日配付)の商品案内にセット予定。署名された用紙は、供給時にOCR注文書と一緒に提出ください。

昨年は東都生協組合員からの4,532筆を含む85万筆超の署名を国会に提出!ご協力ありがとうございました。

受付期間: 1月18日(月)～3月26日(金)

◆リサイクル洗びんセンター支援募金

東都生協のリユースびんの洗浄などを行っているリサイクル洗びんセンターは、リユースびん事業の伸び悩みにより、運営が大変厳しい状況になっています。今後の仕事の確保、収入維持のために、機械の補修や設備更新などを支援していくことが必要です。同センターで働く人々がより良い環境で働けるよう、募金にご協力ください。

募金の受付期間と方法

受付期間: 1月25日(月)～2月19日(金)
申込番号: 365947(1口200円)
募金方法: 2月1回～2月4回企画のOCR注文書に申込番号と口数を記入して提出(インターネット注文でも受け付け可能)。
※領収書の発行はできませんのでご了承ください。

昨年は1,955,200円の募金が集まり、半自動洗びん機の修繕などに活用する予定です。ご協力ありがとうございました。

新春にあたりご挨拶



理事長
風間与司治

明けましておめでとうございます。昨年は、世界的な「新型コロナウイルス感染症拡大」で日常の風景が一変、災厄とも言われるべき1年でした。今年も「コロナ禍」は続きますが、この危機を皆さんと共に乗り越えて前進したいと思えます。不便のない組合員のステイホームを可能にしたのは生協宅配事業の存在でした。今こそ協力の力で生協をより強くしていくチャンスです。また、生産と消費がつながる安心感、食料安全保障としての国内自給の大切さの実感、健康な身体づくりで見直す食材の選択、食を通じて家族のコミュニケーションなど、産直の東都生協がこれまで大事にしてきた活動が、期せずして新しい時代の潮流に重なってきているように感じます。

今年度提起させていただく「2030年ビジョン」は理念に基づく、10年後に向けた羅針盤です。未来はいつだって私たちの手の中にあります。未来は行動によってつくられるものです。持続可能な社会づくりを指し、組合員、生産者、職員が一緒になって知恵を出し、行動する1年にしていきましょう。